

本学園八王子キャンパスにおけるPFOS（有機フッ素化合物の一種）を含む 泡消火剤の一部流出について 第六報

2025年8月22日
学校法人片柳学園

八王子キャンパス地下車路においてPFOS（有機フッ素化合物の一種）を含む泡消火剤流出の件に関しましてその後対応およびキャンパス付近の水質調査を下記の通りご報告いたします。

現状と講じた対策（第五報参照<https://www.teu.ac.jp/information/2025.html?id=186>）

1. 事故後学内污水处理場から調整池への放流を止めキャンパス外への流出を停止
2. 調整池から外部河川への放水口を完全に遮断
3. 7月17日よりキャンパスを完全閉鎖して汚染水の量を低減
4. キャンパスに残留している汚染水を産業廃棄物処理業者に依頼し搬出を実施
5. 汚水について高度処理プラントを設置し、浄化処理のうえ、濃度を50ng/L以下にまで下げたうえで段階的に水路に放流予定
6. 処理水放流の管理として、水路及び兵衛川にてサンプリング調査を実施
7. 排水を止めている調整池の汚水も処理プラントを構築していく

上記すべての施策を実施し、プラント処理後に50ng/L以下が確認された水については関係行政機関確認の上、8月8日より順次水路への放流を開始しております。

調整池含め、今後の学内に滞留している汚水に関しても同様の処理を実施し、キャンパスの完全復旧を進めてまいります。

●水質調査結果

調査日 2025年8月19日（火）

調査結果 P F O S 及び P F O A 合計濃度

(1) 兵衛川合流付近 18ng/L

(2) キャンパス外水路 49ng/L

※調査地点次頁参照

両箇所とも河川の暫定指針値(50ng/L)を下回る数値となっております。

今後も上記箇所の継続的水質調査を行い経過を確認してまいります

本学園としては9月1日からの授業本格開始に向け、引き続き八王子市および関係機関と綿密に連携し、キャンパス内の万全な安全対策を講じてまいります。

学校関係者および近隣の皆様に多大なご不便・ご心配おかけしておりますことを改めてお詫び申し上げます。

水質調査地点

